

す く す く 通 信 第1号

「とちぎ de まんぷくキャンペーン」にご当選された皆様に、6月1日（土）に田植え体験をして頂きました、栃木県那須烏山市（JAなす南）の「田んぼ」の様子をご紹介します！【～田植え後55日目の様子です～】



6～7月は梅雨空が続いていましたが、稲は順調に生長中ですが、あっという間にこんなにも大きいのびのびとそだちました！

さて、この時期の田んぼではどのような作業が行われているのでしょうか。2枚目の写真をご覧ください。おや？田んぼの水がありませんね？



通常田植え以降田んぼには水が張られているのですが、今の時期に一度田んぼの水を全て抜く作業をします。これを「中干し（なかほし）」と言います。中干しをすることで、無効分げつ（過剰な枝分れ）を抑え、また土や根に酸素を送って根の張りを良くし、強い稲を育てていきます♪



適切な水管理は、強い稲を作る重要な要素です！おいしいお米を作るため、農家の皆さんはいつでも田んぼの水管理に細心の注意を払っています。

「中干し」から約1か月後には「出穂（しゅっすい）」します！この「出穂」については、次回の通信にてご紹介します♪